

エコアクション21  
環境経営レポート

40期  
(令和3年10月～令和4年9月)

令和5年4月3日  
株式会社 西部技術コンサルタント

## 目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲	1
3. 環境方針	2
4. 実施体制及び全体組織図	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営計画	5
7. 環境経営目標の実績	6
8. 環境経営の取組結果とその評価、次期の環境経営目標及び計画	7,8
9. 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無	9
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

## 1.組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 西部技術コンサルタント

代表取締役 松尾 涼二

(2)所在地

本社 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 4丁目18番12号

八女営業所 〒834-0031 福岡県八女市本町416番地1アローフィールドA棟205号

佐賀営業所 〒840-2212 佐賀県佐賀市川副町犬井道752

熊本営業所 〒860-0047 熊本県熊本市西区春日1丁目14-23グリーンコーポ熊本A棟415号室

関西営業所 〒669-1321 兵庫県三田市けやき台6丁目4-140

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

【管理責任者】

技術 篠原 善美

TEL : 092-437-5711

FAX : 092-437-5712

E-mail (連絡先担当者) : sakuragi@seibug.co.jp

【担当者】

技術 櫻木 誠也

技術 江戸 加那子

(4) 事業活動内容

建設コンサルタント

道路部門, 鋼構造及びコンクリート部門, 下水道部門, 河川、砂防及び海岸部門

都市計画及び地方計画部門, 上水道及び工業用水道部門, 農業土木部門

土質及び基礎部門, 地質部門、施工計画・施工設備及び積算部門、建設環境部門  
測量

(5) 事業の規模(40期:R03/10~R04/9)

項目	売上高	従業員	床面積
単位	百万円	人	m <sup>2</sup>
数量	483	30	400

## 2.対象範囲

(1) 対象組織 全組織

本社 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 4丁目18番12号

TEL : 092-437-5711, FAX : 092-437-5712

八女営業所 〒834-0031 福岡県八女市本町416番地1アローフィールドA棟205号

TEL : 0943-22-8652, FAX : 0943-22-8653

佐賀営業所 〒840-2212 佐賀県佐賀市川副町犬井道752

TEL : 0952-45-0626, FAX : 0952-45-0626

熊本営業所 〒860-0047 熊本県熊本市西区春日1丁目14-23グリーンコーポ熊本A棟415号室

TEL : 0968-57-8131, FAX : 0968-57-8132

関西営業所 〒669-1321 兵庫県三田市けやき台6丁目4-140

TEL : 079-556-5481, FAX : 079-556-5482

(2) 対象活動 全活動(認証・登録範囲に含まれる全活動)

建設コンサルタント

道路部門, 鋼構造及びコンクリート部門, 下水道部門, 河川、砂防及び海岸部門

都市計画及び地方計画部門, 上水道及び工業用水道部門, 農業土木部門

土質及び基礎部門, 地質部門、施工計画・施工設備及び積算部門、建設環境部門  
測量

### 3.環境方針

株式会社 西部技術コンサルタントは、地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、社会資本整備を担う土木設計事業を通じて、自然環境の保護に務め、環境に配慮した企業活動を目指します。

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的に改善を推進します。

(1) 省エネルギー及び省資源を推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。

(2) 廃棄物の減量化、再利用、リサイクルを促進し、廃棄物の排出量を減らします。

(3) 水道使用量の削減に取り組みます。

2. 当社に関わる環境関連法令および協定を遵守します。

3. 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。

4. 環境に配慮した土木設計・計画立案業務を実施します。

5. この方針を全従業員に周知し、環境教育活動を推進します。

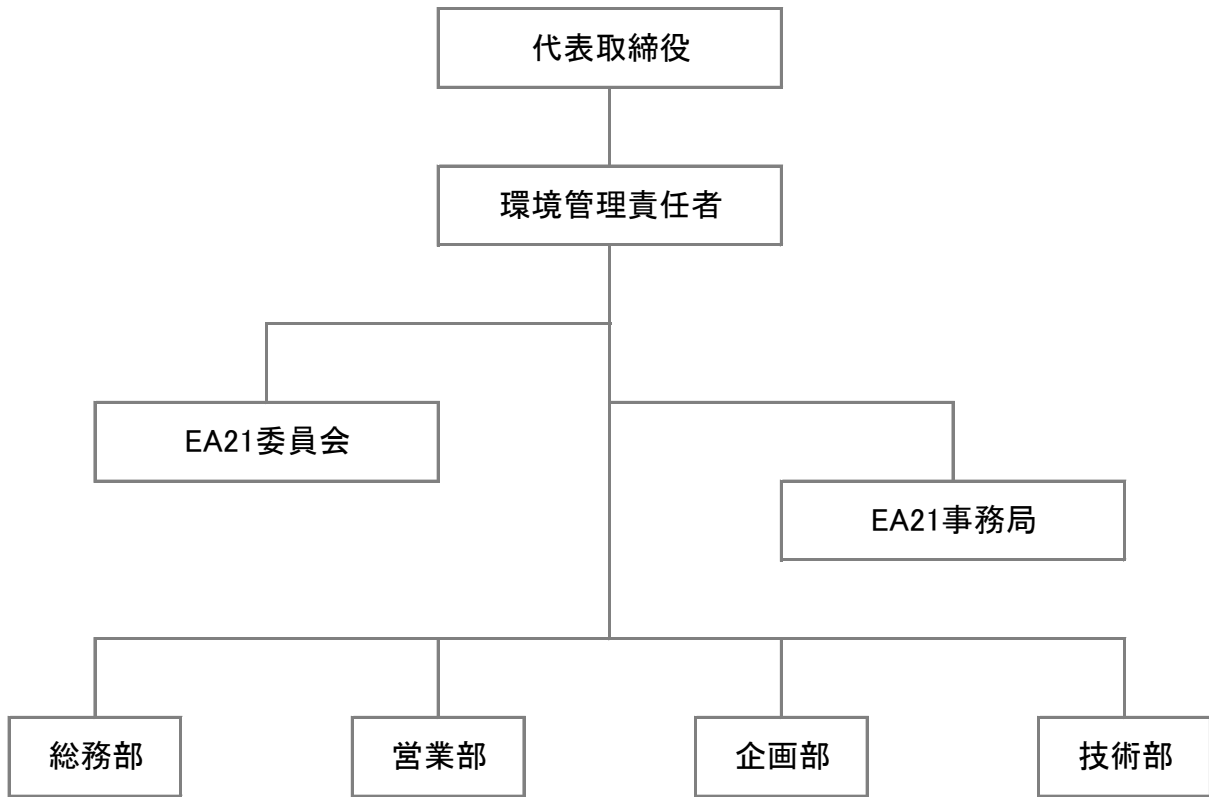
作成日 平成20年11月25日

改訂日 令和元年10月1日

株式会社 西部技術コンサルタント

代表取締役 松尾 涼二

## 4.実施体制及び全体組織図



### ・ 役割, 責任及び権限

属性	氏名	役割, 責任及び権限
代表取締役	松尾 涼二	全体統轄、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し。 環境管理責任者の任命。
環境管理責任者	篠原 善美	環境経営システムの構築・運用、社長への状況報告。
EA21委員会	篠原 善美 橋爪 勝美 櫻木 誠也 江戸 加那子	3ヶ月に1回EA21委員会の開催。 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議。
EA21事務局	櫻木 誠也 江戸 加那子	環境管理責任者を補佐。 EA21における文書及び記録類の作成・維持・管理の報告。
各部門長	篠原 善美 吉脇 大善	環境管理責任者及びEA21事務局と各部門職員とのコミュニケーションの中継。 各部門職員の環境への取り組み管理及び評価。

## 5.環境経営目標

当社の環境経営目標は以下に示すとおり。

項目	単位	基準値 (前期の値)	単年度目標		
			40期	41期	42期
			今期目標	2年目目標	3年目目標
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	36,185	35,823	35,461	35,099
			(-△1.0%)	(-△2.0%)	(-△3.0%)
1-1 電気使用量削減	kWh	34,702	34,355	34,008	33,661
			(-△1.0%)	(-△2.0%)	(-△3.0%)
1-2 ガソリン使用量削減	ℓ	9,692	9,595	9,498	9,401
			(-△1.0%)	(-△2.0%)	(-△3.0%)
1-3 LPG使用量削減	m <sup>3</sup>	33	32	32	32
			(-△1.0%)	(-△2.0%)	(-△3.0%)
2 廃棄物排出量の削減	kg	208	206	204	202
			(-△1.0%)	(-△2.0%)	(-△3.0%)
3 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	144	143	141	140
			(-△1.0%)	(-△2.0%)	(-△3.0%)
4 環境に配慮した設計の提案	% (実施業務/業務全体)	96	97.0	97.9	98.9
5 地域社会における環境保全活動への参加推進	回/月	-	3	3	3

・当社は化学物質を使用していないため、環境目標項目から除外する

・電気使用による二酸化炭素の排出量は令和3年度の調整後の排出係数0.392kg-CO2/kWhを使用。

## 6.環境経営計画

### 1.環境経営計画

当社の環境経営計画は以下に示すとおり。

#### 環境経営計画

項目	目標	取組内容	取組スケジュール	責任者	担当者	
1	電力使用量	前年度に対し 1%削減	室温測定・適温維持 (夏:25° ,冬:23° )	夏: 6～ 9月 冬:12～3月	篠原	1F:江戸 2F:櫻木
			休憩時間の消灯	通年	篠原	1F:江戸 2F:櫻木
2	ガソリン使用量	前年度に対し 1%削減	エコドライブの実施	通年	篠原	吉脇 岡田
			エコカーの購入	通年	篠原	吉脇 岡田
3	LPG使用量	前年度に対し 1%削減	高効率給湯器へのシフト	設備交換時	篠原	櫻木
4	廃棄物排出量	前年度に対し 1%削減	コピー用紙の裏紙使用 (両面コピーの推奨)	通年	篠原	櫻木 江戸
			再生トナーの使用	通年	篠原	櫻木
			分別, 資源ゴミ収集への 協力	通年	篠原	櫻木 江戸
			ゴミ排出量の計測	通年	篠原	江戸 橋爪
5	水使用量	前年度に対し 1%削減	節水の周知徹底	通年	篠原	1F:江戸 2F:櫻木
5	環境に配慮した 設計の提案	% (実施業務/業務全体)	設計業務における 環境配慮型設計の提案	通年	篠原	篠原
6	地域社会に おける 環境保全活動	3回/月	駐車場前公道の清掃	通年	篠原	櫻木 江戸 橋爪

## 7.環境経営目標の実績

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、平成20年12月より環境活動に取り組み、環境経営目標が一部達成出来ていない項目がある。

項目		単位	基準値 (前期の値)	今期の目標値	今期の値	達成率 (%)
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	36,185	35,823 (-△1.0%)	35,528	100.8%
1-1	電気使用量削減	kWh	34,702	34,355 (-△1.0%)	37,067	92.7%
1-2	ガソリン使用量削減	ℓ	9,692	9,595 (-△1.0%)	9,007	106.5%
1-3	LPG使用量削減	m <sup>3</sup>	33	32 (-△1.0%)	34	95.2%
2	廃棄物排出量削減	kg/月	208	206 (-△1.0%)	93	222.1%
3	水使用量削減	m <sup>3</sup>	144	143 (-△1.0%)	147	97.3%
4	環境に配慮した設計の提案	% (実施業務/業務全体)	96	97.0	102	105.5%
5	地域社会における環境保全活動への参加推進	回/月	-	3	3	100.0%

・当社は化学物質を使用していないため、環境目標項目から除外する

・計算式は、達成率(%)=今期の目標値/今期の値×100(上記4のみ削減量ではなく、提案した数なため、今期の値/今期の目標値×100となる。)



## 8. 環境経営の取組結果とその評価、次期の環境経営目標及び環境経営計画

・ 当期（40期）の取組結果とその評価、次期の環境経営計画（取組）は以下に示します。

### (1) 二酸化炭素排出量削減（達成率100.8%）

#### 1) 電気使用量削減（達成率92.7%）

<取組結果>

昨年度同様感染症対策の一環として窓を開けていたため、冷暖房をより使用したことが未達成の要因であると考えます。

#### 2) ガソリン使用量削減（達成率106.5%）

<取組結果>

昨年度に社員が自家用車出勤等を行ってガソリン使用量が増加していたが、今年度は自家用車出勤を削減し目標値の達成率が上がったと考える。また社用車のエコカー利用が大きな要因になると考える。

#### 3) 総括

昨年度同様感染症対策を行っているが、電気使用量が増加しているため見直す必要があると考える。

<次期の環境経営計画（取組）>

感染症対策を優先しつつ、冷暖房の使用時期の見直しを行う。

### (2) 廃棄物排出量の削減（達成率222.1%）

<取組結果>

昨年と比較し、大幅な減少が見られる。  
基準資料等を電子化して、コピー印刷する枚数の削減による排出量を抑えることができた。  
引き続き廃棄物排出量の削減に努める。

<次期の環境経営計画（取組）>

- ・ 2年経過の紙資料は、年に1度廃棄。  
なお、従来の「焼却処理」から「マテリアルリサイクル化」する。

**(3) 水道使用量の削減（達成率97.3%）**

＜取組結果＞

昨年と比較して達成率は低いものの、人員が増加によるものとする。

＜次期の環境経営計画（取組）＞

この調子で水の使用量を抑えていきたい。

**(4) 環境に配慮した設計の提案（達成率105.5%）**

＜取組結果＞

大幅に目標を達成していた。

＜次期の環境経営計画（取組）＞

今期も引き続き行っていく。

**(5) 地域社会における環境保全活動への参加**

＜取組結果＞

本社周囲の清掃活動は目標通り行った。

・ 次期環境経営計画目標

5. 環境経営目標の41期(2年目)目標、6. 環境経営計画のとおりとする。

## 9.環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無

- ・ 当社の事業活動に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・ 関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も、過去3年間ありませんでした。

主な法規名	順守状況
廃棄物処理法	○
家電リサイクル法	○
消防法	○
フロン排出抑制法	○

## 10.代表者による全体評価と見直しの結果

### 1.全体評価

- ・ 全社員でエコアクション21に継続的に取り組み、環境意識の向上に努めた。
- ・ 業務の中に環境配慮設計を取り込んだ。
- ・ ガソリン代の節約による二酸化炭素排出量の削減に努めた。
- ・ LED電灯の導入による環境意識の向上、電気代の削減に努めた。

### 2.見直し

- ・ 環境方針は次期も継続するが、環境目標、環境活動計画については、次期はさらなるステップアップが出来るよう積極的な取組を行う。
- ・ 感染症対策を行っているが、電気使用量が増加しているため見直しを行い、また空気清浄機などの導入の検討。
- ・ 今後も社員の環境意識を向上するための環境教育を実施するとともに、本業における環境配慮設計の取組を実施する。